

県と市町の情報ホットライン

自治かがわ

2026
vol.129

KAGAWA v2.0 働き方を、デザインする。 | 坂出市

矜持 誇り高き挑戦 | 株式会社Life-do.Plus代表取締役 中井 厚志さん

ジモト、沼る | 小豆島ふるさと村

3～4か月児
健診での
骨密度測定保護者向け
エクササイズ

坂出市

「集める」から「出向く」へ 発想の転換と庁内外の連携で 届けたい人に届く支援を

人生100年時代を迎えた今、多くの自治体にとって大きな課題である「健康寿命の延伸」。厚生労働省が主催する「第14回健康寿命をのばそう！アワード」で優良賞を受賞した、坂出市の取り組みを紹介します。

2024(令和6)年度
(県モデル事業)

県健康政策課と連携

健康づくり政策推進
アドバイザーと連携

- 乳がん(超音波)検診で測定開始
(対象者:35～39歳の女性)
- 測定者にアンケート調査を実施
- 市職員に測定と保健指導を実施

職員課と連携

- 3～4か月児健診で保護者の測定開始
- 子育て支援センター等でも測定開始
フォローアップ
(栄養・運動指導)

既存事業に「出向く」という 発想の転換

県内17市町の中でも医療費水準が高い坂出市では、介護要因の上位を占める「骨折」への対策強化が課題となっていました。将来を担う働く世代や子育て世代にも健康づくりに関心を持ってもらおうと、運動教室などを開催してきましたが、参加者の多くは高齢者や退職者。「届けたい人になかなか届かない」というもどかしい思いを抱いていました。

そこで、2024(令和6)年度に「生活習慣・健康状態見える化事業」をスタート。市の保健事業で最も受診率の高い乳幼児健診の場に職員が出向き、保護者を対象に骨密度と野菜摂取量を測定しました。ほぼ全員の保護者が参加し、測定結果を見て会



坂出市健康福祉部 けんこう課

高橋咲紀さん 小原唯奈さん 係長 松浦悠子さん

アドバイザーとのやり取りで 心に残っていることは？

普段の暮らしの中で、健康づくりの取り組みが市民に満遍なく届くような「環境づくり」が大切だということです。個人の努力に頼る施策では、収入や知識の違いによって健康格差が広がってしまいます。

これまで「市民にきてもらう」ことを前提にしていた私たちにとって、大きな発想の転換であり、学びとなりました。

健康寿命延伸に取り組む 他市町へメッセージ

新しいことを一から始めようとすると大変ですが、「すでにあるものをどう活用するか」を考えるとハードルが下がるのではないのでしょうか。

県内では「見える化事業」が広まってきていて、研修会等で他の自治体とつながる機会も増えました。意見交換をしながら、よりよい健康づくりに取り組んでいきたいと思います！



小学校での
野菜摂取量
測定



2026(令和8)年度

- 過去2年間の内容を継続
- 「ミライボネ検診」の実施へ
(対象者:ハイリスク者)
- 健康経営に向けて
民間企業にアプローチ
(対象者:働く世代)

産業観光課と連携

2025(令和

- 対象者を保護者から
小中学生へ拡大
- 前年度の内容を継続しながら、市内の小学校・保育所・認定こども園・幼稚園等の参観、イベント時など、測定場所を拡大

こども課と連携

- 小学校での野菜摂取量
測定の実施

連携で広がる健康づくり

話が弾む様子も見られたとか。当時、事業を担当していた高橋さんは「市民が集まる場へこちらから『出向く』ことの大切さに気付かされました」と振り返ります。

「見える化事業」は、健康分野で社会学や行動学を研究するアドバイザーや、県健康政策課と協力しながら進めてきました。アドバイザーの講演をきっかけに庁内の部署間のつながりも生まれ、保育所やこども園、小学校のイベント時など、測定機会の拡大に結び付いています。

これからの課題は「数値の低かった人どう医療につなげていくか」。今年度はハイリスク者を対象に、検診機会の確保と費用補助を行う「ミライボネ検診」の準備が進行中。また、産業観光課と連携し、民間企業の健康経営に向けて、働く世代へのアプローチも実施予定です。高橋さんの後任の小原さんは、「新規事業を進める難しさや楽しさを経験しながら、市民の皆さんに還元できる事業を展開していきたい」と意欲的。松浦さんは「他部課とアドバイザー、さらに医療機関と密に連携しながら継続的に『見える化』に取り組み、皆さんの健康意識が高まれば」と話してくれました。

矜 持

誇

り

高

き

挑

戦

「高品質」「安心」「安全」を基本に、お客さまのライフスタイルや

価値観に合った魅力的な商品を開発・提案し、

生活がより豊かにプラスとなる商品を提供している

株式会社 Life・id・plus。

設立から10年で全国トップクラスの生産体制を構築した

代表取締役の中井厚志さんにお話を伺いました。

代表取締役

中井 厚志 さん NAKAI ATSUSHI

大阪府出身(大阪府大阪市在住)

昭和55年4月11日生まれ 46歳

8年間のサラリーマン生活を経て、不動産会社を立ち上げ独立。その後、ホテル再建の依頼を受け、事業の黒字化に成功。2016年に現会社を設立し、代表取締役に就任。

託された会社の再建 取引先と信頼関係を再構築

除菌ウェットティッシュ、粘着クリーナー、キッチンクリーナーなど日用雑貨品や衛生用品は、今や日常生活に欠かせないもの。株式会社Life-do・Plusはそれらの製品を高品質かつ低コストで製造する会社として、お客さまや取引先から広く支持されています。



毎日の暮らしに寄り添う商品を幅広く展開。アイテム数は600点を超える

15年前、日用雑貨品を製造していた前身の会社が業績悪化で、民事再生しなければならぬ状況に陥っていました。当時、中井さんはホテル事業を再建し、黒字化に成功したところで、その実績が買われ、知人から会社の立て直しを依頼されました。「販路や従業員も多い。このまま会社をつぶしてしまうと、そこに関わる人たちの生活はどうなるのか」と考え、「再建できるものなら挑戦してみよう」と話を引き受け、2016年に新会社「株式会社Life-do・Plus」を設立しました。

事業再生を始めて数年間は、前身の会社とつながりのある取引先や仕入先から、「支払いは大丈夫か」、「企業としてうまくやっていけるのか」といった懸念が示され、取引条件などで通常と異なる対応を求められることも多く、資金繰りが苦しい時期もありました。中井さんは、「自分がどんな人間で、これから何をするのかを知ってもらうためには、直接会って説明することが大切。その積み重ねが信頼関係につながる」と信じ、説明会や取引先を直接訪問して、会社の再建方法や経営方針を丁寧に説明。取引を継続していく中で信頼関係を構築し、業績も回復しました。



省人化に対応した最新機械を備えたウェットティッシュの生産ライン

生産体制から人材育成まで ハードとソフトの両面を改革

事業を再生するにあたり、商品の素材や原料、生産ライン、職場環境など、会社のソフトとハードの両面を一から見直しました。「現状にとらわれることなく、新しいものに挑戦していく」というのが中井さんのモットー。日用雑貨品や衛生用品は、他社と差別化することが難しいとされる中、高品質かつ安心して使っていた商品を目指し、成分はもちろん、不織布の材質や包装フィルムなど細かい部分にもこだわりま

会社概要



山本工場

株式会社Life-do.Plus

本社所在地 大阪市北区豊崎2丁目7番5号

TEL 06-6292-5525

FAX 06-6292-5529



ホームページ



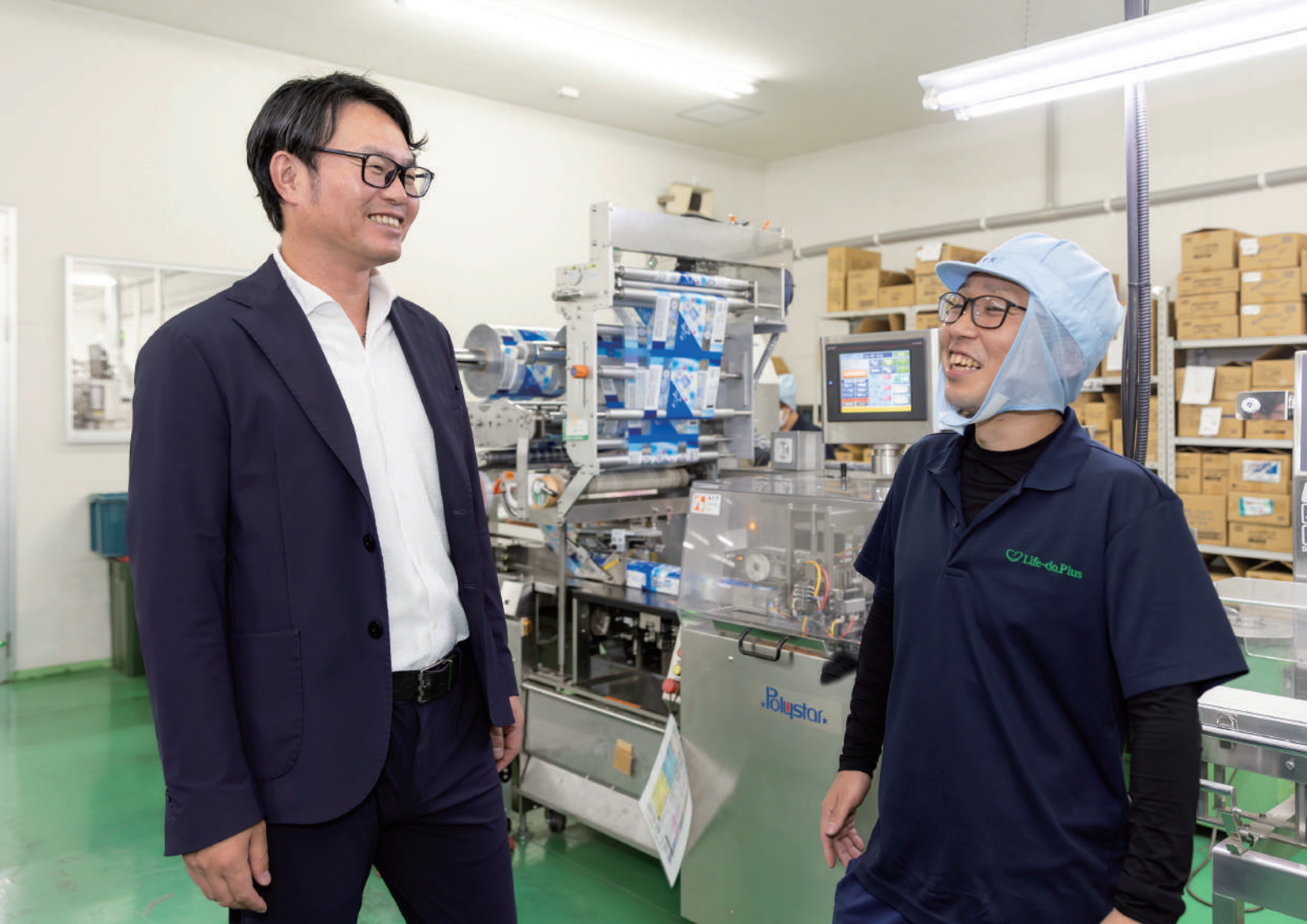
Instagram

山本工場 香川県三豊市山本町神田山才乙288-31

TEL 0875-56-7188

FAX 0875-56-7189

日用雑貨品、ウェットティッシュなどの紙加工品、衛生用品、化粧品、医薬部外品などの企画・開発・製造・販売



した。常に最適なものを追求・検証し、より良いものへと改善。さまざまなカテゴリーの商品を、幅広く生産できる体制を整備しました。

近年の人材不足を踏まえ、生産ラインは省人化に対応した最新の機械を導入。他にも、製品への異物混入を避けるため、金属探知機・重量チェックなどのオンライン検知器や、化粧品や食品などの検査でも求められない微生物検査ができる設備も設置しています。「当社の製品を手にとった時、『この価格でこれができるの?』と言ってもらえるようなものを作っていきたい」。高品質の製品を、ローコストで提供できるように、製造設備のブラッシュアップを継続し、さらなる商品力の向上につなげています。

「工場にいる時は積極的に現場を回ることが多いです」と話す中井さん。部門長に出した指示が社員に正確に伝わっているかを確認するため、進捗状況や仕事での問題点などを現場の社員に直接聞くことも。「最初は戸惑っていた社員も、積極的に意見を言うようになり、本音を聞けるようになりました」と、社内の雰囲気も大きく変わりました。



さらなる生産力の向上に期待がかかる観音寺工場

観音寺に新たな製造拠点 生産能力が1・3倍に

2025年9月に、新たな製造拠点となる観音寺工場を開設しました。新工場の設備には生産速度、不織布の折り加工部分に独自の技術を取り入れています。「詳細は企業秘密ですが、お客さまが当社の商品を使っていた際には、その違いを感じてもらえると思います」と中井さん。生産能力はこれまでの1・3倍になり、月2千万個のウェットティッシュを製造できる体制になりました。



ボランティアで被災地の自宅の掃除を手伝う中井社長



会社主催のバーベキューパーティを開催。社員とその家族約200人が参加し、大盛り上りの一日に

被災地に物資を支援 地域の活動にも貢献

生産拠点が西讃地区に集中している理由は、港が近いこと。ウエットティッシュの原料となる不織布を海外から仕入れており、コンテナの陸揚げ環境が優れている三島・川之江港が近くにあることで、輸送コストを抑えられます。工場周辺には、同業他社や包装フィルム・ラベル・段ボール箱のメーカーも多く、効率的な資材調達も可能。また、ドラッグストアやホームセンターなどの販売先に出荷する際もスムーズに対応できるという利点もあり、生産活動がしやすい環境が整っています。

現在の社員数は250人。本社、営業所、工場の距離が離れているため、「社員同士の親睦を深めてもらいたい」とバーベキューや新年会などのイベントを開催しています。費用は会社が全額負担。普段は電話やメールで仕事のやり取りをしている社員と顔を合わせて話をするすることで、その後のコミュニケーションが円滑になり、業務にも生かされています。地域の活動にも積極的に参加しています。地元のイベントには自社商品を提供する形で協賛しており、三豊

市内の保育所に赤ちゃん用お尻拭きを提供した時は、大変喜ばれました。コロナ禍には、県内の全保育所に除菌ウエットティッシュを配布しました。

地震や水害などの大災害時には、除菌ウエットティッシュなどの物資の提供だけでなく、社員がボランティアとして支援活動に参加。愛媛県大洲市の水害の時には、中井さん自身も被災地に足を運び、現地を確認。「被災者の切実な状況を見て、私たちにできることがあれば少しでも役に立ちたい」と思いを新たにしました。

1ランク上のものづくりで 目指すは「業界ナンバーワン」

今後は、病院や介護の現場で使われる医療部外品や美容系の商品開発を進め、将来的には一般のマーケットへの展開も視野に入れています。

近年、安価な海外製商品が国内に入ってきている中、「日本製ならではの『高品質』、『安心』、『安全』をさらに追求し、リーズナブルな価格で消費者の皆さまにお届けしたい」と語る中井さん。業界ナンバーワンを目指し、消費者のライフスタイルをより快適にする、1ランク上のクオリティの商品づくりに挑戦し続けています。

中井社長の1週間

月曜日 東京(取引先との商談、会合 など)
火曜日 福岡に移動(取引先にあいさつ)
水曜日 福岡で商談後、夜大阪に移動
木曜日 大阪(お客さま対応、ミーティング など)
金曜日 香川に移動、工場巡回
土曜日 香川(社内ゴルフコンペ)
日曜日 休日



休日の過ごし方



サッカー観戦

香川のプロサッカーチーム「カマタマーレ讃岐」のスポンサー企業として、会社を挙げて応援。社員の中には、席を移動してサポーターと一緒に飛び跳ねて応援するほど熱狂的なファンも。

かがわ自治★ナウ!

今号のテーマ 郷土香川の魅力を伝えるためにアンテナショップができること

1 全国初の二県共同 アンテナショップとして 平成15年3月に誕生

「香川・愛媛せとうち旬彩館」は、東京のJR新橋駅のすぐそばに位置し、全国初の二県共同アンテナショップとして、平成15年3月にオープンしました。1階は特産品ショップ、2階ではレストランの「かおりひめ」、工芸品・雑貨ショップ、観光情報コーナーを設置・運営しており、「両県が位置する瀬戸内の旬のものを彩りよくお届けする」をコンセプトに、香川県と愛媛県の首都圏における観光物産発信の拠点として多くの方々に親しまれています。

2 今年4月に2階を リニューアルオープン!

旬彩館2階は、内装の改修等を経て、今年4月にリニューアルオープンしました。特に、レストラン「かおりひめ」は、大型モニターを店頭1台、店内に3台設置して県産品の生産者の声や、特色ある香川の風景などの動画を放映しています。これまで以上に香川を身近に、そして深く体感していただける空間へと生まれ変わりました。

メニューも県産小麦「さぬきの夢」100%の讃岐うどんや骨付鳥のほか、オリーブ牛などのブランド県産食材をふんだんに使った逸品を多数取りそろえています。



レストラン「かおりひめ」



アンテナショップの機能をフル活用するためには、県内市町との連携が不可欠

東京観光物産センター 所長
吉村航介さん

3 週替わりで両県の 多彩なイベントを開催

旬彩館1階のイベントコーナーでは、年間を通じて、香川県と愛媛県が週替わりでイベントを開催しています。市町や観光協会、事業者などが出展し、県内の特産品を販売するほか、試食・試飲も行っています。また、イベントコーナーの出展に併せて、2階の「かおりひめ」において、期間限定メニューの提供も調整次第で



イベントコーナー

可能です。例年12月に出品者の公募をしており、首都圏の方々の生の声をお聞きする絶好のチャンスなので、積極にご応募ください。

このテーマの詳しい情報は **こちら!**



自治振興課の

NO. 1

自治振興課のご紹介！

ヤバイ生態系

自治振興課とは！

自治振興課は、県内17市町の皆様の行財政運営をバックアップする「後方支援部隊」です。私たちは常に、住民の皆様を最前線で支える市町職員の皆様の顔を思い浮かべながら仕事をしています。

日々の業務で発生する悩みに対し、一番の理解者として寄り添いたいと考えています。堅苦しい相談でなくても構いません。皆様の現場の声を聴くことが、私たちにとって「より良い香川」を作るための大切なヒントになります。私たちは、皆さんの「困った」に寄り添う一番の理解者でありたいと考えています。些細なことでも、ぜひお気軽に自治振興課の扉を叩いてください。共に知恵を絞り、香川を盛り上げていきましょう！



『自治かがわ』のデザイン変更！

お気づきの方もいらっしゃるかもしれませんが、『自治かがわ』は129号よりデザインを大幅に刷新しました！

今号からは写真をふんだんに使用し、堅苦しさを抑えた「手に取りやすく読みやすい」レイアウトを意識しています。

パラパラとページをめくる中で、皆様の業務や活動に役立つ「面白い発見」や「情報のきっかけ」を見つけていただければ幸いです。

より身近で親しみやすい情報誌を目指してまいります！



PEOPLE

恋バナが大好きです

課長 中村 将さん



●自治振興課の特長

ルーツの異なる職員(市町の研修生、県庁職員、総務省からの出向者)が公私共に密な繋がりを持つところ

●趣味

課員有志での登山、ボードゲーム
恋愛リアリティーショー視聴

●今年の抱負

結婚式に呼ばれたい



岐阜県 大野町

Gifu
Onocho

職員の働き方改革の推進と 行政サービスの向上を目指す



総合政策部 総合政策課
政策係長 堀 博善 さん

働き方改革の推進が全国的に広がる中、大野町が取り組む
「開庁時間の見直し」および「ナチュラル・ビズ・スタイル」についてご紹介します。



岐阜県最大級の面積を有する道の駅「パレットピアおおの」

1 大野町の概要

岐阜県大野町は、広大な濃尾平野の西北端に位置し、西には掛斐川、東にはその支流の根尾川が流れる、水と緑に囲まれた自然豊かな町です。豊富な水と肥沃な土壌を活かした農業が盛んで、特にバラ苗や富有柿の全国有数の産地となっています。また、戦国時代の天才軍師・竹中半兵衛の生誕地として知られています。近年は、岐阜県、愛

知県、三重県をつなぐ東海環状自動車道の「大野神戸インターチェンジ」周辺において、地域のにぎわいを創出するため企業誘致等のまちづくりを推進しています。大野神戸インターチェンジに隣接する岐阜県最大級の道の駅「パレットピアおおの」には、観光等の拠点として、県内外の多くの方が訪問されています。ぜひ、お越しください。

2 開庁時間の見直しの 取り組みについて

本町では、従来、午前8時30分から午後5時15分を開庁時間としており、この時間中に窓口業務や電話等の住民対応を行っていました。

しかし、転出入等の住民異動、各種申請、現金を扱う出納業務等の一部の業務においては、閉庁時間後に後処理を行う必要があるため、一部の職員は時間外勤務が常態化していました。

近年、働き方改革やワークライフバランスの向上が求められる中、職員間の不均衡な勤務状況が全庁的な課題となっていたため、令和7（2025）年当初より、本町にとつての最適な開庁時間の検討を始め



大野町のポロシャツ

大野町役場に 来庁される方に 重要なお知らせ

開庁時間の変更

令和8年1月から開庁時間を変更します。

午前8時30分 午後4時30分 午後5時15分

【変更後】午前8時30分～午後4時30分
※職員の勤務時間は、8:30～17:15と変更はありません。

原則、開庁時間内での対応となりますが、事前に電話等により予約をすることで、開庁時間以降の対応もできる場合があります。

※午後4時30分以降（予約制度）に対応できない業務の一例
・各種証明書の発行 ・町税、水道料金等の納付 ・転出入等の届出の受付 など
詳細につきましては、各担当部署に直接お問い合わせください。

対象施設： 庁舎、保健センター、福祉センター

【電話対応】 午前8時30分～午後4時30分
※開庁時間以外で緊急の場合には、代表電話で対応します。
(代表電話:0585-34-1111)

ナチュラル・ビズ・スタイルの実施

令和7年11月からナチュラル・ビズ・スタイルを実施します。

業務効率の向上、庁舎の節電等による省エネルギー化及び脱炭素に向けた取り組みの推進を目的とし、職員一人ひとりが適切な体温管理が可能な動きやすい服装で執務を行う「ナチュラル・ビズ・スタイル」を実施します。

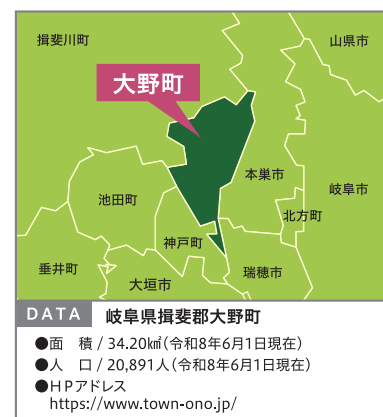
動きやすい服装「ナチュラル・ビズ・スタイル」とは

- ・職務を行う時(Time)、場所(Place)、場合(Occasion)にあった、人に不快感を与えない清潔感のある服装
- ・半ズボン、ジーンズ等は着用不可
- ・ノーネクタイ可(ネクタイの着用を一律に認めるものではない(各自の判断))
- ・カーディガン等の重ね着のほか、ひざ掛けの利用
- ・名刺は必ず着用

開庁時間変更 総合政策課 0585-35-5363
(電話予約については、各担当部署にご相談ください。)
ナチュラル・ビズ・スタイル 総務課 0585-35-5364

開庁時間の変更、ナチュラル・ビズ・スタイルの実施ポスター

状況)にに応じた服装で執務にあたることを必須とする一方で、年間を通じて動きやすい服装(ノーネクタイ、ノージャケット等)で執務にあたる事が可能



これらの検討を経て、開庁時間を45分間短縮し、午前8時30分から午後4時30分に変更すること、そして、住民サービス維持のため閉庁後の来庁予約制度を導入することを決定しました。町ホームページや広報紙、ポスター等による

ナチュラル・ビズ・スタイルとは、夏場や冬場といった期間を設けず、年

3 ナチュラル・ビズ・スタイルの取組みについて

来庁者に不快感や違和感を与えない清潔感のある服装、また、TPO(時・場所・状況)に応じた服装で執務にあたることを必須とする一方で、年間を通じて動きやすい服装(ノーネクタイ、ノージャケット等)で執務にあたる事が可能

ました。

検討にあたり、庁舎内の全窓口における時間別の来庁者数の調査、また来庁者へのアンケート調査により開庁時間のニーズを把握しました。また、町内の全地区で毎年度、開催しているタウンミーティングにおいて、住民と意見交換を行いました。

2ヶ月間の周知期間の後、令和8(2026)年1月より、開庁時間を変更しました。十分な検討や周知により、来庁者の大きな混乱もなく、現在に至っています。

課題であった職員の不均衡な勤務状況は緩和され、事務処理や職員研修、打ち合わせが閉庁後の余裕がある時間に実施できるようになったほか、ワークライフバランスの向上にもつながっています。

間を通じて働きやすい服装での働き方を推進する取組みのことです。

ゼロカーボンシティを宣言する本町では、これまでも「クールビズ」や「ウォームビズ」の期間を設け、過度な空調に頼ることなく、軽装や重ね着で執務を行うことにより、温室効果ガス排出の抑制に取り組んでいましたが、本町と友好都市提携・防災協定を結ぶ北海道北見市での先進事例を参考とし、令和7(2025)年11月より「ナチュラル・ビズ・スタイル」の本格運用を始めました。

となり、多数の職員から「業務効率があがった」「快適で働きやすくなった」等、好評を得ています。

職員の多様で柔軟な働き方を推進しながら、今後も省エネや脱炭素に向け、全庁的に取り組んでいきたいと考えています。

4 おわりに

長時間労働の是正や多様で柔軟な働き方の実現は、職員のモチベーションや業務効率に好影響をもたらすものと考えます。そして、職員の働き方改革が行政サービス向上の一助となるものとして捉え、今後多様化する住民ニーズを的確に把握しながら、住民サービスの質の向上と職場環境改善の両立を目指します。

① 国民宿舎 小豆島

全室オーシャンビューの客室や展望風呂からは、日本の夕陽百選に選ばれた瀬戸内海の絶景が



広がります。島の新鮮な海の幸や旬の素材を使った料理も魅力です。



ジモト、 沼る。



小豆島ふるさと村

遊び尽くそう

夏レジャーを

小豆島を大満喫！



約7000㎡の広い敷地で、さまざまな体験と宿泊ができる「小豆島ふるさと村」。島の自然や食、アクティビティをまるごと楽しめる複合施設です。夏におすすめの楽しみ方をご紹介します。

▲ 小豆郡小豆島町室生2084-1

☎ 0879-75-2266



ホームページ

もっと沼る？
詳しくはこちら！



⑥ オートキャンプ場

青い海と美しい星空の見えるロケーションが魅力。水回りを備えたオートサイトのほか、エアコン完備のキャビンやトレーラーハウスもあり、快適にアウトドアを楽しめます。

穏やかな瀬戸内海の景色に癒やされながら、ゆったりとした島時間を過ごしに来てください！

今回の沼り人

一般社団法人小豆島ふるさと村
事業部 道の駅課 係長

佐倉 亮さん





② ファミリープール

波音や潮風を感じるロケーションで開放感抜群！タイプの異なる4つのプールがあり、子どもから大人まで楽しめます。2026年度の営業日は7月18日(土)～8月23日(日)です。



③ 流しそうめん

夏の風物詩として、家族連れやグループに大人気。滑らかなのど越しとごま油の風味が特徴の小豆島そうめんを、みんなでにぎやかに味わえます。



夕日を一人占めできる「サンセットシーカヤック」

④ シーカヤック体験

穏やかな池田湾をシーカヤックで大冒険！海面間近からの景色は非日常そのもの。安定性の高いカヤックなので、初心者や小さな子どもでも気軽に乗ることができます。



ログハウス風のファミリーロッジもおすすめ



流木アートフォトスポット



⑤ SUP体験

島風を感じながら瀬戸内海をゆったりと海上散歩。カヤックとは一味違う、水上アクティビティならではの爽快感を体験できます。

み ま さ や こ
三馬 早耶子さん
さぬき市 市民部税務課



相手の気持ちに寄り添えることが強みです。日々の業務でも周りを見ながら一つひとつ丁寧に取り組み、1日でも早く仕事を覚え、信頼される職員を目指します。

お だ あ や な
小田 采奈さん
坂出市 建設経済部農林水産課



農家の方が安心して作業できるよう、防護柵設置の補助など鳥獣対策をしたいと思入庁。狩猟免許を取得したので、有害鳥獣の捕獲にも貢献できるよう頑張ります。

ひ ら は た が く
平畑 我空さん
高松市 生活福祉第一課



毎日勉強ですが、魅力に溢れた高松市のために働くことを誇りに思っている日々の業務に臨んでいます。尊敬できる先輩方を目指して成長できるよう頑張ります！

ふ く し ま け い こ
福島 圭悟さん
三豊総合病院企業団



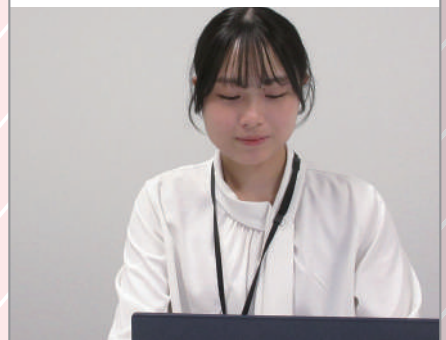
趣味は体を動かすことやスポーツ観戦で、出身は観音寺市です。医療を通して、地元観音寺に貢献できるよう頑張ります。

NEW FACE

Nice to meet you

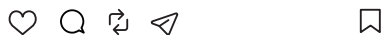
新しい仲間が加わりました。
個性豊かなメンバーの素顔を
ご紹介します。

こ とう
後藤 かこさん
丸亀市 総務部庶務課



丸亀市が「世界の持続可能な観光地TOP100選」で世界2位になりました。そのような魅力が詰まった伝統ある場所で働くことができ、毎日が新鮮で楽しいです！

か わ さ き ま お
川崎 真緒さん
中讃広域行政事務組合



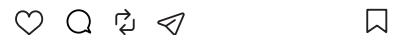
今までと全く違う環境、業務内容のため毎日新しく勉強することばかりです。1日も早く仕事に慣れるよう、頼もしい先輩方からしっかり学んでいきたいと思います。

か わ に し た い せい
川西 泰聖さん
三観広域行政組合消防本部



消防職員として、人命を最優先に考え、強い責任感と使命感を持って職務に励みます。常に向上心を忘れずに、仲間とともに協力し、地域の安全を守ります。

わ か い ゆ う す け
若井 優介さん
普通寺市 保健課



発達に特性を持った子どもたちの成長を支える仕事に携わってきました。一人ひとりに寄り添う姿勢を大切にしながら、普通寺市に貢献できるよう頑張ります。



瀬戸内海を眺めながら「すなはまベンチ」でゆったりと

津田の松原に広がるTシャツアート展。さまざまなデザインのTシャツが“ひらひら”とたなびく



KAGAWA, VIBES @さぬき市

Tシャツ作品 大募集！

砂浜のキャンパスに、あなたがデザインしたTシャツを「ひらひら」させてみませんか。

募集期間

7月1日(水)～
9月7日(月)



※応募方法は下部の二次元コードからご確認ください。

※Tシャツは展示後、「返却」か「寄付」を選べます。



多くの人でにぎわう会場風景



昨年のテーマ「風と話そう」に合わせて地元の小学生が制作した「風と話せる公衆電話」で記念撮影

白砂青松の美しい景観が広がる津田の松原を舞台に、2022年から開催している「すなはまフェスティバル」。ある外国人が津田の松原を「日本で一番好きな場所」と言って何度も訪れていることを聞き、「この美しい景観を生かしたイベントをしたい」と実行委員長の田村さんをはじめ地元有志が集結。高知県黒潮町の砂浜美術館から運営方法を学び、スタートしました。

今年度の開催は、10月30日(金)～11月3日(火・祝)。「新しい扉を開こう」をテーマに、Tシャツアート展を中心に、砂浜な

美しい景観を生かし、津田の魅力を発信 すなはまフェスティバル 実行委員会



広報担当
吉岡美智代さん

実行委員長
田村美津子さん

副委員長
寒川かおりさん

らではの体験や交流が生まれるプログラムを実施する予定です。「自然や人のつながりを大切にしながら、子どもたちや若い世代、在住外国人、地域住民と一緒に楽しみ、学び、関わる場になりたい」と広報の吉岡さん。地元の住民や小学生、企業、団体と協力しながら、本番に向けて準備を進めています。

DATA

すなはまフェスティバル
実行委員会



▲さぬき市津田町津田1387-1
(ヒューマンリング協同組合内)
☎080-1874-9183 73

史上、 最高額サマージャンボ登場！

NEW! サマージャンボプレミアム

12億円

1等・前後賞合わせて12億円

1等8億円、前後賞各2億円 2等も1億円！

夏の王道！

サマージャンボ

7億円

1等・前後賞合わせて7億円

1等5億円、前後賞各1億円

当せんのチャンス広がる！

サマージャンボ ミニ

5千万円

1等・前後賞合わせて5,000万円

1等3,000万円、前後賞各1,000万円

この宝くじの収益金は、
市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。



PCやスマホでネット購入！

宝くじ公式サイト

<https://www.takarakuji-official.jp/>

2026年市町村振興宝くじ

公益財団法人 香川県市町村振興協会

6月30日(火) 同時発売

●発売期間：6月30日(火)～7月31日(金)

●抽せん日：8月12日(水)

サマージャンボ
プレミアム
1枚
500円

サマージャンボ
ミニ
各1枚
300円

公益財団法人 香川県市町村振興協会